

令和7年度 第24回秋田県障害者技能競技大会 「木工B」競技課題(1)

次の注意事項及び手順に従って、課題図に示す作品を製作しなさい。

1. 注意事項

- (1) 競技開始後、質問等がある場合、参加者は手を上げて名札着用の審査員の指示を受けること。
- (2) 競技開始後、付き添い者等は、競技終了まで参加者に声掛けはできないこと。
- (3) 競技時間は、2時間で、この時間内に製作できれば「課題(1)」、「課題(2)」のどちらから製作してもよいこと。したがって、一方の課題が完成したら、審査員の指示を待つことなく次の課題を製作すること。
- (4) 製作時間の評価は、2時間以内に課題の製作を終了すれば「減点なし」とすること。時間を有効に活用し、ていねいな作品作りを行うこと。
- (5) 支給材料は欠陥がない限り再支給はしないこと。ただし、仕損じによる材料交換は減点の対象とすること。
- (6) 競技及び審査(採点)終了後、完成品と未完成品は各自持ち帰ること。
(主催者へ納品する必要はないこと。)

2. 製作品名 ひらがな(課題図 参照)

- (1) 支給材料に線引きしていること。
- (2) 大きさは、材料に線引きした型のサイズとなること。
- (3) 一筆書きの要領で切り抜くこと。
- (4) 文字の中の空間は穴を事前に空けておきますので、穴が空いた場所から切り抜くこと。

3. 競技時間

- (1) 目安とする所要時間 80分

4. 手順

- (1) 型どり……………材料に型の線引きをしているので型紙と比べ確認すること。
- (2) 切断……………糸のこ盤を使用し、切り抜き順序を考えながら切り抜くこと。
- (3) 磨き……………サンディングブロックや紙ヤスリで切断面を仕上げること。
- (4) 面取り……………角の面取りを行うこと。
- (5) 仕上げの確認……………型紙と合っているか、切断面(木口)の仕上がり状態を確認すること。
表面の仕上がり状態を確認すること。
カド(角)の面取り状態を確認すること。
- (6) 番号シール貼り……………完成した作品には作業台に置いてある番号のシールを貼り、かごの中にいれること。

5. 支給材料

(1) 製作用加工板……パイン集成材等(幅 150 mm×長さ 450 mm×厚さ 18 mm)を1人に1枚支給すること。

※上記以外の材料の持ち込みはできないこと。(同等品を含む)

6. 参加者が準備、持参する工具等備品一覧表

No.	品 名	規 格・寸 法(mm)	数量	備 考
1	糸のこ盤(作業台付き等)	学校等で使用しているもので可	1	鋸刃付き
2	筆記用具		—	材料に線引きあり
3	サンディングブロック、 紙ヤスリ補助具(オリジナル)		—	
4	のこぎり		—	
5	さしがね		—	

※上記工具等備品一覧表以外のカンナなどの工具、金ヤスリ等の配布する紙ヤスリ以外の備品の持ち込みはできないこと。

7. 競技会場に置かれている工具等備品一覧表

No.	品 名	規 格・寸 法(mm)	数 量	備 考
1	作業台	縦 600×横 1800×高 700	1	
2	型紙		—	
3	紙ヤスリ	縦 230×横 280	2	#180・240 各 1 枚
4	糸鋸刃	大アサリ	—	破損したときの交換用
5	箱	完成品入れ用	1	
6	番号シール		1	

※上記工具等備品一覧表と同等の工具等備品の持ち込みはできないこと。

※持参した糸のこは作業台下にある電源コンセントを使用すること。

8. 審査基準

以下の基準により審査を行うこと。

- (1) 寸度～型紙と完成品の合致状況
- (2) できばえ～仕上げ度(表面・切断面の研磨)
- (3) 作業工程・態度～基本動作、作業手順、要領等の全般的な評価

9. 審査対象

- (1) 「あ」の切り抜き
- (2) 「あ」の外枠

課題(1) 切り抜きに関する製作要領について

1. 「切り抜き」は、手直しのできない切断そのままの切り抜き作業となりますので、より一層の精度が求められることから事前のご指導をよろしくお願いいたします。

2. 形状どおり正確に糸ノコで切り抜き作業をするためには、**2ヶ所の穴のうち、いずれかの穴から切り始めるのか**、ご検討いただいたうえで作業にとり組まれたらと思います。

なお、切断面などの仕上がりをきれいにするには、ペーパーなどに時間を費やすよりは、加工材の送り速度に気をつけながら、正確な切断を心がけることが大切だと思います。

3. 競技に参加している選手の皆さんが、作品の完成判断(これで提出しても良いのかどうかの判断)に際して戸惑いを持ち、提出時を逸している場面も想定されるので、自信を持って提出できるよう事前のご指導をよろしくお願いいたします。

4. 採点項目としては、切り抜き面のスムーズな曲線やそのなめらかさなど、特に小さい曲線部分の自然さなどに重点をおいていますので、型紙の図にそった加工材料の送り速度や正確さなどにご注意いただければと思います。

5. 各課題の競技時間の目安としては、課題1を80分(45分から60分位が標準時間となっています)、課題2を40分としています。

競技時間については、競技総合時間を標準2時間と定め、超過した場合は減点となりますが、課題の製作にあたっては、課題1及び課題2のいずれからでも各学校の判断に従って製作方法をお考えいただければと思います。

